

第3期大分市中心市街地活性化基本計画（案）の市民意見公募で
寄せられた意見の概要とそれに対する本市の考え方

意見募集期間：平成29年10月11日（水）～平成29年11月9日（木）

意見提出者数：7人

意見件数：15件

【意見の内訳と件数】

意見の内容	件数
1. 「1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針」に関すること	2
2. 「3. 中心市街地活性化の目標」に関すること	6
3. 個別の事業に関すること	1
4. その他に関すること	6
合 計	15

1. 「1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針」に関すること

No.	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	賑わいが戻りつつも、面としての波及に乏しいという本計画における課題をふまえ、テーマ『県都にふさわしい中心市街地の魅力が伸展するまちづくり』を、『県都にふさわしい中心市街地の魅力が伸展し、賑わいが面として広がるまちづくり』にすべきではないか。	<p>ご意見のとおり、本計画においては中心市街地活性化の課題として中心市街地全体への商業活力や賑わいの拡大をあげており（49頁）、中心市街地全体の商業活性化に向け、取組を進めていくこととしております。</p> <p>テーマにつきましては、中心市街地のまちづくりの方向性を示した「おおいた中心市街地まちづくりグランドデザイン」との整合性を図っており、このグランドデザインでは将来都市構造として「面的な拡がりをもった都市構造」を目指すとしており、テーマにはこの意味を含んでいるものであることから、現行案のとおりとさせていただきます。</p>
2	高度経済成長期、団地開発により、都市は郊外に広がり中心部に人がいなくなった。中心部及び中心部周辺の住宅地に回帰させる仕組みづくりが大切である。	<p>本市の中心市街地における人口は、駅南土地区画整理事業などの事業効果もあり、近年は増加が続いております。また、中心市街地におけるマンション建設数は増加し、住宅供給が進んでいます。</p> <p>今後も、まちなかりノベーション居住等物件魅力アップ事業（80頁）等を推進するとともに、「赤ちゃんの駅」事業（95頁）などの生活サービス機能や中心市街地循環バス運行事業（94頁）などの公共交通環境の整備に取り組むことにより、中心市街地の魅力をさらに高めてまいりたいと考えております。</p>

2. 「3. 中心市街地活性化の目標」に関すること

No.	意見の概要	意見に対する本市の考え方
3	働く人・住む人を増やし、まちなかへの出店・移住意欲を駆り立てるような施策として、企業誘致に関わる補助サポートやまちなかへの出店や移住に興味がある人と商店主とが情報交換できる交流サロンの誘致およびサロン運営事業者への補助をしてはどうか。	<p>本市では、創業・出店支援については「チャレンジ創業！」大分市創業者応援事業（90頁）、まちなかへの出店に関してはまちなか出店サポートセンター運営事業（82頁）といった支援制度を運用しております。</p> <p>また、移住促進に関しましては、東京や福岡などにおいて移住相談会を開催し、移住支援制度の説明を行っています。</p> <p>ご提案いただいた内容につきましては、本計画の基本的な方針の一つである「幅広い世代の人で賑わう魅力あるまちなか商業拠点の形成」に重要な役割を果たすものであるため、現在取り組んでいる創業支援や出店サポートの取組を充実させるなか、今後の検討課題とさせていただきたいと考えております。</p>

4	<p>より密度の高い商業集積や移住による人口増加のため、地権者や不動産会社、コンサルティング会社等の補助やサポートを充実させ、既存建物の上層階の活用促進を図るべき。</p>	<p>現在、まちなか出店サポートセンター運営事業（82頁）のなかで、中心市街地の空き店舗情報を収集し、出店希望者等へご紹介をしております。</p> <p>既存建物の上層階の活用促進につきましては、中心市街地の商業集積を進めるために有効であると考えており、まちなかりノベーション居住等物件魅力アップ事業（80頁）でリノベーションを推進することなどにより、中心市街地の物件の魅力向上を図り、上層階の活用を促進してまいります。</p>
5	<p>バリアフリー化や、子どもからお年寄りまで住みよい街をテーマとし、治安維持に対する補助やサポート、警察との連携や市民団体による見守り隊などの創出による安心安全でクリーンな街づくりを進めてもらいたい。</p>	<p>中心市街地のバリアフリー化については、「大分市バリアフリー基本構想」に基づき、計画的に取り組んでおります。</p> <p>また、治安維持に関する補助やサポート、警察との連携や市民団体による見守り隊などの創出による安心安全でクリーンな街づくりについては、ご近所の底力再生事業（94頁）において「安心安全のまちづくり」や「環境美化」の取組を支援するほか、中心市街地の治安維持に関して警察との連携を引き続き図るなど、今後も安全・安心を身近に実感できるまちづくりを進めてまいります。</p> <p>なお、民間の取組として大分まちなか交番連絡協議会が「まちなか防犯パトロール事業」を継続して行っていることから、具体的な事業として本計画に掲載することとします。</p>
6	<p>コンパルホール・ふないアクアパーク・ライフパル・赤レンガ館といった府内町の賑わい拠点の再整備をすべきだと考えます。</p>	<p>公共施設等の再整備は、中心市街地の活性化に重要な役割を果たすものと考えており、今後個々の事業が具体化すれば、本計画策定後においても年に3回程度ある計画変更認定申請の際に追加していきたいと考えております。</p> <p>また、現在、取組が進んでいる大分城址公園の整備に関しましては、74頁に個別事業として掲げており、回遊性の向上や交流人口の拡大に取り組んでまいります。</p>
7	<p>商業活性化のために、既存施設（赤レンガ館、コンパルホール、ライフパル、府内城址、若草公園、ふないアクアパーク、遊歩公園等）のさらなる整備と活用により中心市街地の回遊性を高め、訪れてみたくなる街づくりにより交流人口の拡大を図る取組が必要である。</p>	
8	<p>大友館～遊歩公園～大分城址公園の観光動線としての視点での機能充実と、中央通りから遊歩公園ゾーンの東西の賑わい動線の創出による賑わいの面としての広がりの実現に資するため、遊歩公園ゾーンの抜本的早期改編をすべきだと考えます。</p>	<p>「おおいた中心市街地まちづくりランドデザイン」においては、遊歩公園と大手公園の一体的な再生を目指すことや、大分城址公園、大友氏遺跡などの歴史文化観光拠点の形成を進めることが掲げられております。</p> <p>また、「大分市観光戦略プラン」においても、地域資源を活かした観光振興を目指し、中心市街地の歴史文化遺産や、遊歩公園などにある著名な彫刻家による屋外彫刻を巡るカルチャーツーリズムの推進に努めることとしており、今後これらが具体化すれば、本計画策定後においても年に3回程度ある計画変更認定申請の際に追加していきたいと考えております。</p>

3. 個別の事業に関すること

No.	意見の概要	意見に対する本市の考え方
9	<p>中心市街地循環バス「大分きゃんばす」について、現状、大分駅以北の停留所は、トキハの前から歩いて行ける距離である。大分駅以北のルートを見直し、中心部周辺の住宅地からマイカーを使用せず、中心部に買い物に出かけたり、大分駅（JR）を利用しやすくしてはどうか。</p> <p>また、通勤や通学にも利用できれば中心部の回遊性をさらに高めることができるのではないかと。</p>	<p>中心市街地循環バス「大分きゃんばす」は、大分市美術館や大分県立美術館、ホルトホール大分や商店街などをつなぐことにより、中心市街地の回遊性の向上を図ることを目的に運行しています。現在の運行ルートは、多くの方が利用する大分駅（1日平均3.9万人の乗降）を中心に各施設をつないでいます。今後の運行ルート等につきましては、利用状況等を踏まえて、検証してまいります。</p> <p>なお、中心部周辺の住宅地から中心市街地へのアクセスについては、通常の路線バスが担うこととなります。路線バスについては、平成29年4月に策定した「大分市地域公共交通網形成計画」（25頁）に基づき、現在、具体的な路線バスの再編や運行ダイヤの見直しなどに取り組んでおり、誰もが快適に移動できる公共交通ネットワークの構築を目指してまいります。</p>

4. その他に関すること

No.	意見の概要	意見に対する本市の考え方
10	<p>中心市街地活性化基本計画に示される内容は、私有地に影響が及ぶ。街は絶えず変化しており、計画策定時に実施された市民意向調査（アンケート）にとどまらず、随時、市民や事業者の意向の把握ができると良い。このような意向調査や、その事業への反映は、中心市街地が市民のくらしの場としてより魅力的であるためには、とても重要である。</p> <p>また、このような機会を設けることは、市民や事業者の提案や投資意欲の促進につながると考えられることから、中心市街地で起きうる、イベントや各種事業に対する、消費者としての市民意見の聴取機会を、積極的に設けてはどうか。</p>	<p>本市におきましては、市政運営に当たって広く市民の皆様のご意見やご要望をお聞きする「ふれあい市長室」や、今後重点的に取り組むべき政策、施策を検討する上での参考資料となる「大分市民意識調査」、また、市民政策提言や市ホームページによる市民意見の聴取など、あらゆる手段を通じて、多様化、複雑化する市民ニーズの的確な把握に努めているところでございます。</p> <p>本計画の策定にあたりましては、中心市街地活性化協議会等において事業者や各種事業者等から様々なご意見を聴取しておりますが、中心市街地のさらなる活性化を目指し、様々な機会を捉え市民意見の把握に努めてまいりたいと考えております。</p>
11	<p>大分駅周辺の高架下にスカッシュコートを作ってほしい。</p> <p>高架下であれば、騒音の影響も少なくすむ。また、末広から王子の区間および要町の区間は街灯が少ないことから、スポーツ施設を作ることによって街灯の役目も果たせるし、人通りが増えることで防犯対策にもなる。</p> <p>近隣のみなさんの健康にも寄与でき、雇用にも貢献できると思う。</p>	<p>市民の健康づくりや安心安全なまちづくりは非常に重要なことと考えておりますが、高架下の有効活用については関係機関との調整や協議が必要となるものであることから、いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>

12	<p>まちづくり会社の組織強化と支援が必要であり、まちづくりの専門的知識を持った方の採用も必要ではないか。</p>	<p>中心市街地の活性化のためには、まちづくり会社の存在は不可欠であり、その組織強化や支援、専門的知識を備えた人材育成・登用等は重要な課題であると認識しております。こうしたことから、今後とも大分商工会議所などの関係機関との連携を強化し、まちづくり会社に求められる機能の充実を促進してまいりたいと考えております。</p>
13	<p>人口減少でコンパクトシティ化を進めなければならない現状であり、中心市街地もさらにまちなか居住の推進をしてもらいたい。特に駅北側は築年が40年以上の建物が多く、今後居住も含めた再開発が必要である。</p>	<p>本市では、少子高齢化の進行や今後見込まれる人口減少社会に対応するため、現在、コンパクトな都市づくりを目指し「大分市立地適正化計画」の策定を進めております。このようななか、中心市街地におきましては、商業・業務機能の強化とともに、都市型居住機能の集積を図るため、市街地再開発事業や地区計画制度などの活用と併せて、民間活力による建物の共同化や中高層化を促進するとともに、リノベーションによる既存ストックの有効活用を促進することが重要であると考えており、まちなかりノベーション居住等物件魅力アップ事業（80頁）等を推進し、中心市街地の魅力をさらに高めてまいりたいと考えております。</p>
14	<p>府内町と中央町の歩行者通行量をみると、中央町が多く、格差が広がっており、府内町のココ入れをしてほしい。 大分城址公園と遊歩公園の再整備や、コンパルホール付近の一体的再開発を進めてもらいたい。</p>	<p>遊歩公園の再整備やコンパルホール周辺の一体的再開発につきましては、府内町の魅力を向上させ、回遊性を高めるとともに中心市街地の活性化に重要な役割を果たすものと考えており、今後の検討課題とさせていただきたいと考えております。 なお、現在、取組が進んでいる大分城址公園の整備に関しましては、74頁に個別事業として掲げており、回遊性の向上や交流人口の拡大に取り組んでまいります。</p>
15	<p>まずは人が街に集まるのが大事であり、街に集まった人を楽しみ、また来たいと思わせる取組がいかにかできるかが課題だと思う。 市と商店街がより密になり、色々なイベントや取組を行い、大分の人たちだけでなく、他県の方、世界の方に大分はステキな街だと思われるようなまちづくりができればいいと思う。</p>	<p>本計画の上位計画である大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」においては、基本的な政策として、「にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり」を掲げており、関係機関との連携を強化し、住む人や訪れる人たちにとっての新たな魅力を創出することでにぎわいと活力に満ちた豊かなまちづくりを進めてまいります。 また、本計画においても、市民のみならず、国内外の観光客の来街者を増やすことが中心市街地の活性化のために重要であるとの認識のもと、「多様な都市ストックを活かした交流機会の拡大」を目標の一つとしており、今後も、商店街や大型店等の商業者をはじめ様々な主体との連携を図りながら、より魅力的なイベントの開催など中心市街地の魅力を発信する取組を進めてまいりたいと考えております。</p>